



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 スギホールディングス株式会社
コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樹田 直

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 笠井 真

TEL 0566-73-6308

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日

平成26年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年2月期第2四半期 | 193,598 | 5.0 | 11,623 | 0.6 | 12,708 | 0.2 | 7,650 | 3.0 |
| 26年2月期第2四半期 | 184,432 | 6.3 | 11,552 | 14.4 | 12,680 | 6.1 | 7,427 | 10.5 |

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 7,657百万円 (3.0%) 26年2月期第2四半期 7,434百万円 (10.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年2月期第2四半期 | 120.83 | — |
| 26年2月期第2四半期 | 117.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年2月期第2四半期 | 196,122 | 120,947 | 61.7 | 1,910.22 |
| 26年2月期 | 182,272 | 114,809 | 63.0 | 1,813.29 |

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 120,947百万円 26年2月期 114,809百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期 | — | 16.00 | — | 24.00 | 40.00 |
| 27年2月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 27年2月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 389,000 | 6.5 | 20,000 | △0.5 | 21,000 | △4.0 | 12,000 | △6.4 | 189.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年2月期2Q | 63,330,838 株 | 26年2月期 | 63,330,838 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年2月期2Q | 15,209 株 | 26年2月期 | 15,209 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年2月期2Q | 63,315,629 株 | 26年2月期2Q | 63,316,204 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府主導による経済政策により、国内企業の設備投資や米国向けを中心とした輸出が徐々に好転し、緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、消費環境は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加えて、ガソリン、電気、食料品等の価格が上昇したことにより、消費回復の足取りが重く、今もなお、先行き不透明感が拭えず、力強い回復までには至っておりません。

薬局・ドラッグストア業界は、増税前は一部の高単価な商品や生活に密着した商品の特需がありましたが、増税後は、その反動減はもちろんのこと、天候不順が影響し、季節商品の盛り上がりを欠いた状況で推移をいたしました。

また、異業種・異業態との競争がますます激化する中、診療報酬改定に伴う「薬価引き下げ」や「調剤報酬体系の見直し」等により、業界を取り巻く環境は、従来とは全く異なっており、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、従来にも増して、「地域密着、お客さま・患者さま起点による柔軟かつ俊敏な店舗運営」に努め、

- (1) “いつまでも健康でいたい”、“もっと美しくなりたい”といったお客さまのニーズに応えたテーマ訴求型の売場・商品展開
- (2) 薬剤師・管理栄養士・ビューティアドバイザーが、「食事や運動」「お肌のトラブル対策や解消法」をお客さまに説明・提案するキメ細かな接客活動
- (3) 地域のお客さまニーズを仕組みとして汲み取り、それに基づく商品選定と品揃えの拡充
- (4) 患者さまが後発医薬品を選択しやすくなるように丁寧な説明に努め、より一層の使用促進を行うとともに、調剤業務の手順および待合時間、待合室環境を患者さま視点から全面見直し・改善
- (5) 「健康チェック・相談会」「子供向けの薬剤師体験」等を実施し、地域と一体となったイベントの積極的開催

等に取り組んでまいりました。

また、次代の成長基盤となる「人・組織体質づくり」、「制度、システムといったインフラ構築」に注力し、

- (6) 取引構造・形態および仕組み面からあらゆる分野のコスト・パフォーマンスを見直し、思い切った改廃・変更することによる一層のローコスト化推進
- (7) 組織の柔軟性・革新性を高めるべく、主体的で多様性ある人材育成と組織体質づくりを目的に、ジョブ・ローテーションの活発化をはかるとともに、新たな課題に挑戦する「場と機会」を意図的に創り、多くの若い人材を積極的に参画させる

等に取り組んでまいりました。

新規店舗開発につきましては、「収益力ある新店開発」のため、以前にも増して、営業と店舗開発の両部門がエリア戦略のもとづくキメ細かな新規出店物件の評価・選定を行うとともに、早期収益化に向けた両部門の活発な意見を速やかに取り入れる体制の構築に注力してまいりました。

また、地域への浸透密度を高めた商勢圏の確立に向け、地域の「美・健康・快適生活の総合サポート」をコンセプトとし、より地域密着した品揃えとサービスの拡充を行った新業態店舗を新たに愛知県内に2店舗開発・導入してまいりました。

その結果、24店舗の新規出店、45店舗の中・大型改装、1店舗の業態転換、13店舗の閉店を実施し、当第2四半期末における店舗数は926店舗（前期末比11店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は1,935億98百万円（前年同期比5.0%増、91億66百万円増）、売上総利益は530億45百万円（同3.4%増、17億61百万円増）、販売費及び一般管理費は414億21百万円（同4.3%増、16億89百万円増）、営業利益は116億23百万円（同0.6%増、71百万円増）、経常利益は127億8百万円（同0.2%増、27百万円増）、四半期純利益は76億50百万円（同3.0%増、2億23百万円増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社の事業セグメントは単一セグメントとなりましたので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、現金及び預金、商品及び有価証券の増加等により、1,961億22百万円（前連結会計年度末に比べて138億50百万円増加）となりました。負債は、買掛金、未払法人税等の増加等により、751億75百万円（同77億12百万円増加）となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により、1,209億47百万円（同61億37百万円増加）となり、自己資本比率は61.7%（前連結会計年度末比1.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月8日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 44,504 | 51,372 |
| 売掛金 | 11,111 | 12,571 |
| 有価証券 | 17,605 | 22,924 |
| 商品 | 43,522 | 41,802 |
| その他 | 8,433 | 8,534 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 125,175 | 137,204 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 23,360 | 23,612 |
| その他(純額) | 10,664 | 11,146 |
| 有形固定資産合計 | 34,024 | 34,759 |
| 無形固定資産 | 2,120 | 2,788 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 15,409 | 15,580 |
| その他 | 5,582 | 5,834 |
| 貸倒引当金 | △40 | △46 |
| 投資その他の資産合計 | 20,951 | 21,369 |
| 固定資産合計 | 57,096 | 58,917 |
| 資産合計 | 182,272 | 196,122 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 39,956 | 44,185 |
| 未払法人税等 | 3,525 | 3,794 |
| 賞与引当金 | 1,311 | 686 |
| その他 | 14,769 | 18,296 |
| 流動負債合計 | 59,562 | 66,963 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,982 | 3,188 |
| 資産除去債務 | 3,040 | 3,126 |
| その他 | 1,877 | 1,896 |
| 固定負債合計 | 7,900 | 8,212 |
| 負債合計 | 67,462 | 75,175 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,434 | 15,434 |
| 資本剰余金 | 24,632 | 24,632 |
| 利益剰余金 | 74,743 | 80,874 |
| 自己株式 | △39 | △39 |
| 株主資本合計 | 114,770 | 120,901 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38 | 45 |
| その他の包括利益累計額合計 | 38 | 45 |
| 純資産合計 | 114,809 | 120,947 |
| 負債純資産合計 | 182,272 | 196,122 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 184,432 | 193,598 |
| 売上原価 | 133,148 | 140,553 |
| 売上総利益 | 51,284 | 53,045 |
| 販売費及び一般管理費 | 39,732 | 41,421 |
| 営業利益 | 11,552 | 11,623 |
| 営業外収益 | | |
| 有価証券評価益 | 665 | 569 |
| 受取賃貸料 | 597 | 604 |
| その他 | 538 | 577 |
| 営業外収益合計 | 1,802 | 1,751 |
| 営業外費用 | | |
| 賃貸収入原価 | 475 | 479 |
| その他 | 198 | 188 |
| 営業外費用合計 | 674 | 667 |
| 経常利益 | 12,680 | 12,708 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 330 | 198 |
| 特別損失合計 | 330 | 198 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,350 | 12,509 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,259 | 4,462 |
| 法人税等調整額 | 663 | 395 |
| 法人税等合計 | 4,922 | 4,858 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,427 | 7,650 |
| 四半期純利益 | 7,427 | 7,650 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,427 | 7,650 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6 | 6 |
| その他の包括利益合計 | 6 | 6 |
| 四半期包括利益 | 7,434 | 7,657 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,434 | 7,657 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,350 | 12,509 |
| 減価償却費 | 2,301 | 2,366 |
| 減損損失 | 330 | 198 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 601 | △624 |
| 有価証券評価損益 (△は益) | △665 | △569 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,765 | △1,459 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △582 | 1,712 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 5,823 | 4,236 |
| その他 | 131 | 2,731 |
| 小計 | 18,526 | 21,100 |
| 利息及び配当金の受取額 | 75 | 35 |
| 利息の支払額 | △5 | △7 |
| 法人税等の支払額 | △3,695 | △4,178 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,901 | 16,951 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △24,000 | △31,750 |
| 定期預金の払戻による収入 | 22,000 | 32,000 |
| 有価証券の取得による支出 | △16,500 | △18,250 |
| 有価証券の償還による収入 | 11,000 | 14,500 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,057 | △2,668 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △411 | △521 |
| 差入保証金の差入による支出 | △695 | △739 |
| その他 | 164 | △12 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,500 | △7,441 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △949 | △1,517 |
| その他 | △30 | 126 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △979 | △1,391 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,421 | 8,118 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,627 | 25,504 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 29,048 | 33,622 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|--------------|------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | ファーマシー 事業 | ドラッグ 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 145,593 | 38,839 | 184,432 | — | 184,432 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 145,593 | 38,839 | 184,432 | — | 184,432 |
| セグメント利益 | 10,499 | 1,604 | 12,103 | △551 | 11,552 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△551百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、賃貸資産及び遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。

営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 330百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「ファーマシー事業」で 84百万円、「ドラッグ事業」で 245百万円となっております。また、報告セグメントに帰属しない賃貸資産において 0百万円計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「ファーマシー事業」、「ドラッグ事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループは、エリア戦略強化による「商圏内市場シェア拡大」のため、「ファーマシー事業」及び「ドラッグ事業」における店舗の「再編・整備の加速」及び「経営のローコスト化」を目的に、スギ薬局事業部とジャパン事業部を統合いたしました。

このような状況を踏まえ、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントとなることから、当第2四半期連結累計期間のセグメント記載を省略しております。